

## パネルセッション

### 第1部 [14:00 ~ 15:30 (90分)]

第1会場	第2会場
<b>3階 国際会議場</b> 司会：宇佐美洋 (東京大学)	<b>1階 多目的ホール</b> 司会：浜田麻里 (京都教育大学)
①…p.26 <b>対話システム構築と談話研究・日本語教育の接点</b>  宇佐美まゆみ (国立国語研究所) 東中竜一郎 (NTT) 杉山弘晃 (同) 角森唯子 (NTT ドコモ) 大塚容子 (岐阜聖徳学園大学)	②…p.36 <b>多言語環境で育つ子どもの発達障害と日本語教育</b>  川崎直子 (愛知産業大学短期大学) 山本順大 (小牧発達相談研究所) 藤川純子 (三重大学教職大学院生) 伊東浄江 (トルシーダ)

### 第2部 [15:45 ~ 17:15 (90分)]

第1会場	第2会場
<b>3階 国際会議場</b> 司会：服部明子 (三重大学)	<b>1階 多目的ホール</b> 司会：市嶋典子 (秋田大学)
③…p.45 <b>専門日本語教育としての介護の日本語の広がり—外国人介護従事者の育成から学習支援者の養成まで—</b>  三橋麻子 (明海大学) 辻和子 (ヒューマンアカデミー日本語学校東京校) 佐藤治 (ライフケア医療介護事業協同組合) 丸山真貴子 (大原学園)	④…p.55 <b>日本語コーパスの授業活用—研究以外の幅広い活用を目指して—</b>  清水由貴子 (聖心女子大学) 木田真理 (国際交流基金) 清水まさ子 (同) 内海陽子 (海外産業人材育成協会) 劉志偉 (埼玉大学)

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

## 口頭発表 午前の部 [9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

	第1会場	第2会場
	<p>3階 国際会議場 司会：野田尚史 (国立国語研究所)</p>	<p>1階 多目的ホール 司会：松岡洋子 (岩手大学)</p>
9:30 ~ 10:00	<p>①…p.66 ベトナムにおける戦時期日本プロパガンダ誌『Tan Á (新アジア)』のなかの日本語教育—教師の被害性と加害性に注目して—  有田佳代子 (新潟大学)</p>	<p>⑤…p.90 中国の大学におけるネイティブ・ノンネイティブ日本語教師への相互意識調査—アンケート結果が示唆する現状と課題—  櫛佳世 (三重大学) 朴慧淑 (大連外国語大学)</p>
10:10 ~ 10:40	<p>②…p.72 言語教育サービスの商品化に対する教師の意識—香港とベトナムの教師の比較から—  瀬尾匡輝 (茨城大学)</p>	<p>⑥…p.94 接触場面における日本語母語話者の「言い直し」について—接触経験と学習者の日本語能力が及ぼす影響に着目して—  雷雲恵 (文教大学大学院生)</p>
10:50 ~ 11:20	<p>③…p.78 中国語、ベトナム語を母語とする日本語学習者が講義を理解する過程—ノートテイキングとフォローアップインタビューの分析から—  田中啓行 (中央学院大学)</p>	<p>⑦…p.100 ナラティブによる評価の可能性—「社会とつながる日本語教育実践」はどのように評価できるか—  三代純平 (武蔵野美術大学) 南浦涼介 (東京学芸大学) 中川祐治 (福島大学) 佐藤慎司 (プリンストン大学) 石井英真 (京都大学)</p>
11:30 ~ 12:00	<p>④…p.84 口頭能力評価と言語的特徴の関連—「JOPT コーパス」の分析に基づいて—  李在鎬 (早稲田大学)・嶋田和子 (アクラス日本語教育研究所)・伊東祐郎 (国際教養大学)・鎌田修 (南山大学)・坂本正 (名古屋外国語大学)・由井紀久子 (京都外国語大学)・赤木彌生 (東亜大学)・六川雅彦 (南山大学)</p>	<p>⑧…p.106 日本語学校における経営構造の問題—なぜ日本語学校は多国籍化したのか—  岡田茉弓 (大阪大学大学院生)</p>

## 口頭発表 午前の部 [9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

### 第3会場

5階 501 会議室  
司会：木下直子  
(早稲田大学)

9:30 ~ 10:00	<p>⑨</p> <p>発表が予定されていた当該発表は、発表者の都合により中止となりました。</p>
10:10 ~ 10:40	<p>⑩…p.112</p> <p>日本語学習者の作文における順接型の接続表現の習得</p> <p>董芸 (国立国語研究所共同研究員)</p>
10:50 ~ 11:20	<p>⑪…p.118</p> <p>初級日本語教科書における接続表現の取り扱い方と談話の展開方法—中国人結婚移住女性の談話との比較から—</p> <p>王瑜青 (洛陽師範大学)</p>
11:30 ~ 12:00	<p>⑫…p.124</p> <p>自・他動詞導入法の新提案とその実践報告</p> <p>徳弘康代 (名古屋大学) 初鹿野阿れ (同)</p>

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

## 口頭発表 午後の部 [13:30 ~ 16:00 (各 30 分)]

	第 1 会場	第 2 会場
	<p>3 階 国際会議場 司会：小野正樹 (筑波大学)</p>	<p>1 階 多目的ホール 司会：水野晴美 (国際日本語普及協会)</p>
13:30 ~ 14:00	<p>⑬…p.131 テレビゲーム『ドラゴンクエスト3』の語彙調査—日本語教育への応用可能性に向けて—  麻子軒 (大阪大学)</p>	<p>⑰…p.154 音声日本語社会が生み出すダブルバインドに関する試論—見えないマイノリティによるコラボラティブ・オートエスノグラフィーを通して—  中井好男 (同志社大学) 丸田健太郎 (広島大学大学院生)</p>
14:10 ~ 14:40	<p>⑭…p.137 BCCWJにおける「トイイ」「バイイ」「タライイ」の使用実態  大西まき (神戸女学院大学大学院生)</p>	<p>⑱…p.160 概念メタファー理論に基づいた教科学習支援—社会科3・4年生教科書の分析を通して—  鷺見幸美 (名古屋大学) 松浦光 (横浜国立大学)</p>
14:50 ~ 15:20	<p>⑮…p.143 初任日本語教師が抱く授業中の教育不安についての一考察—心理グラフを用いた授業の振り返りから—  布施悠子 (一橋大学大学院生)</p>	<p>⑲…p.166 中学校数学教科書に用いられている動詞の特徴—どのような難しさがあるのか—  宮部真由美 (国立国語研究所)</p>
15:30 ~ 16:00	<p>⑯…p.149 日本語自律学習支援システムにおける学習アドバイザーの学びと成長—ピア・サポートを行う大学院生の経験とキャリアの観点から—  寅丸真澄 (早稲田大学) 吉田好美 (同)</p>	<p>⑳…p.172 就学時ガイダンス・プレスクールによる多文化背景家庭の意識変容  窪津宏美 (東京学芸大学大学院連合学校 (横浜国立大学所属) 大学院生)</p>

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

## 口頭発表 午後の部 [13:30 ~ 16:00 (各 30 分)]

	第3会場	第4会場
	5階 501 会議室 司会：中俣尚己 (京都教育大学)	6階 601 会議室 司会：嶋田和子 (アクラス日本語教育研究所)
13:30 ~ 14:00	<p>⑲</p> <p>発表が予定されていた当該発表は、発表者の都合により中止となりました。</p>	<p>⑳</p> <p>発表が予定されていた当該発表は、発表者の都合により中止となりました。</p>
14:10 ~ 14:40	<p>㉑…p.178</p> <p>モンゴル語・インドネシア語母語話者は痛みのオノマトペをどのように捉えるのか—介護のオノマトペの調査から—</p> <p>神村初美 (国立国語研究所)</p>	<p>㉒…p.196</p> <p>職場と世代が同じタイ人日本語教師 2 名のピリーフに関する縦断研究—背景や経験の異なりとピリーフの形成に着目して—</p> <p>坪根由香里 (大阪観光大学) 小澤伊久美 (国際基督教大学) 八田直美 (国際交流基金) 内田陽子 (同)</p>
14:50 ~ 15:20	<p>㉓…p.184</p> <p>外国人看護師の職場における接触場面の研究—関東圏, 2 施設へのインタビュー調査から見る現状と課題—</p> <p>田村瑠美 (東海大学大学院生)</p>	<p>㉔…p.202</p> <p>定住外国人の働く環境を作る「指示場面の Can-do statements」の開発—「職場」という文脈における指示連鎖の相互行為分析をもとに—</p> <p>大平幸 (山梨学院大学) 佐野真弓 (関西学院大学) 森本郁代 (同)</p>
15:30 ~ 16:00	<p>㉕…p.190</p> <p>3D バーチャルワールド教材作成を通して学ぶ日本語コースデザイン</p> <p>菊池正人 (ジョージア工科大学)</p>	

## ポスター発表 第1部 [10:50 ~ 12:20 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集  
(電子版)の該当ページを示しています。

### 第1会場

3階 303-304 商談室

①…p.209

日本語学校に通う「就労せざるを得ない学習者」を内発的に動機づける教室活動—ベトナム人学習者の事例に基づいて—

真田聡美 (龍谷大学)

②…p.215

学生の深い思考を促す教師の支援—メタ認知を活用した読解教材を通して—

藤田裕子 (桜美林大学)  
福島智子 (同)・白頭宏美 (同)  
鈴木理子 (同)・伊古田絵里 (同)

③…p.221

多文化共修授業における「親しさのコミュニケーション」の促進要素

大島弥生 (東京海洋大学)

④…p.227

改訂版タキソミーから見たJFスタンダードの特徴

保坂敏子 (日本大学)  
藤本かおる (武蔵野大学)

⑤…p.232

日本語多読活動支援の動機・気づき・課題

高橋亘 (神田外語大学)

### 第2会場

3階 305-306 商談室

⑥…p.237

農業における日本語使用の実態と課題—ベトナム人技能実習生に着目して—

重田美咲 (下関市立大学)

⑦…p.241

中国人社員と日本人社員の話し合いにおける会話参加者の配慮・調整—フォローアップ・インタビューから探る外国人材育成のヒント—

蒙韜 (国立国語研究所)  
中井陽子 (東京外国語大学)  
寅丸真澄 (早稲田大学)

⑧…p.247

元留学生社員の日本企業就業継続の要因—インタビュー調査より—

堀井恵子 (武蔵野大学)  
高橋桂子 (国際日本語普及協会)

⑨…p.253

外国人材のための「システム仕様書」の特徴把握の試み—jReadabilityと旧日本語能力試験出題基準を用いて—

大崎健一 (早稲田大学大学院生)

⑩…p.259

看護の実習記録の表現の分析—留学生への支援のために—

山元一晃 (国際医療福祉大学)  
加藤林太郎 (同)

## ポスター発表 第2部 [12:40 ~ 14:10 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集  
(電子版)の該当ページを示しています。

## 第1会場

3階 303-304 商談室

⑪…p.266

外国につながるのある生徒を対象にした教科学習につなぐための日本語教材の開発—「教科につなぐ」とは何か—

志村ゆかり (関西学院大学)・ピアルケ千咲 (東京経済大学)・志賀玲子 (同)・樋口万喜子 (横浜国立大学)・武一美 (早稲田大学)・頼田敦子 (横浜市教育委員会)・永田晶子 (イーストウエスト日本語学校)

⑭…p.284

ビデオ教材「言語景観で学ぶ日本語」の制作と公開

磯野英治 (名古屋商科大学)  
西郡仁朗 (首都大学東京)

⑫…p.272

児童の相互作用に着目した教授法による「読み」の力の向上—学習理解に課題を抱える小学6年生外国人児童2名を対象とした質的研究—

坂口佳代 (同志社国際中学校・高等学校)

⑮…p.288

理工系留学生のための語彙・用例検索ツール『レインボー』完成版の公開—7分野への拡充および分野間共通の自立語の追加採録—

菅谷有子 (東京大学)・伊藤夏実 (東京農工大学)・遠藤直子 (広島工業大学)・岡葉子 (東京大学)・白鳥智美 (横浜国立大学)・成永淑 (無所属)・単娜 (シンガポール国立大学)・中村亜美 (東京大学)・古市由美子 (同)・森幸穂 (青山学院大学)

⑬…p.278

国際共修による学習者主体のピア・ラーニング授業の構築—グローバルな視点に基づいた地域文化理解教育の取組み—

大塚薫 (高知大学)

## 第2会場

3階 305-306 商談室

⑯…p.294

回顧的口頭報告による聴解テスト項目の検証

澁川晶 (国際基督教大学)  
谷部弘子 (東京学芸大学)  
島田めぐみ (日本大学)  
保坂敏子 (同)  
孫媛 (国立情報学研究所)

⑲…p.312

第二言語の文章聴解における視空間情報の処理と視空間ワーキングメモリー容量の関係

林韻 (広島大学大学院生)

⑰…p.300

簡易型日本語会話能力評価テストの開発—日本語会話能力テスト (ACTFL-OPI) との比較—

立部文崇 (徳山大学)  
羽淵由子 (同)

⑳…p.318

非漢字圏学習者の漢字字形認知に関わる漢字の構造と構成要素—非漢字圏初級学習者に対する初見漢字の再認実験から—

早川杏子 (一橋大学)  
本多由美子 (一橋大学大学院生)  
庵功雄 (一橋大学)

⑱…p.306

「良い」意見文と「ふつう」の意見文を分ける要因は何か—テキストの論理性の質的分析を通して—

伊集院郁子 (東京外国語大学)  
小森和子 (明治大学)

## ポスター発表 第3部 [14:30 ~ 16:00 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集  
(電子版)の該当ページを示しています。

### 第1会場

3階 303-304 商談室

⑲…p.325

中国人上級学習者における  
日本語文のリピーティング遂  
行時の処理プロセス—作動記  
憶容量とリピーティングの開始  
時点を操作した実験的検討—

毛炫琇 (広島大学)

⑳…p.329

日本語語彙カードゲームの  
開発と実践

呂建輝 (環太平洋大学)  
安原凜 (同)

㉑…p.335

継承日本語教師の語りにみ  
る協働の意味—教師の理想自  
己に注目して—

瀬尾悠希子 (東京大学)

㉒…p.341

日本語教師研修の内容を構築  
するための論点—移民的背景  
を持つ学習者を対象として—

足立祐子 (新潟大学)・松岡洋子 (岩  
手大学)・富谷玲子 (神奈川大学)・  
今村和宏 (一橋大学)・宇佐美洋  
(東京大学)・林さと子 (元津田塾  
大学)・安場淳 (中国帰国者支援・  
交流センター)

㉓…p.345

外国人集住地域のコミュニ  
ティ・スクール形成において  
地域日本語教室が果たす役  
割—小中学校保護者向け日本語  
教室の実践を通して見えてきた  
こと—

鈴木崇夫 (名古屋大学)

### 第2会場

3階 305-306 商談室

㉔…p.351

雑談における否定的自己評  
価発話

初鹿野阿れ (名古屋大学)  
岩田夏穂 (東京大学)

㉕…p.356

日本語非母語話者同士の接  
触場面における言語調整能  
力

名塚公輔 (首都大学東京大学院  
生)

㉖…p.362

「BTSJ 日本語自然会話コー  
パス 2018 年版」における  
母語話者と学習者の語彙的  
比較

山崎誠 (国立国語研究所)

㉗…p.367

発表が予定されていた当該発表  
は、発表者の都合により中止と  
なりました。

㉘…p.371

複言語話者の加齢による第  
二言語の摩滅に関する縦断  
的研究

野山広 (国立国語研究所)